



# 東通村と都市部との交流事業 2017

## ～ 東通村のわらしを訪ねる会 ～



7月28日(金)から7月30日(日)にかけて、東通★東風塾(山崎孝悦 塾長)が主催する“東通村と都市部との交流事業 2017「東通村のわらしを訪ねる会」”が開催されました。

これは、東京都北区立浮間小学校の5年生が、東通小学校5年生を訪ね、3日間ホームステイしながら電気の生産地である東通村での生活や、東通村が誇る第一次産業を体験する事業です。昨年に引き続き12名の浮間小の“わらし”達が来村し、6月の交流事業以来、およそ2カ月ぶりの再会を果たしました。



越善村長が入村証を交付

初日、越善村長から入村証を交付された浮間小のわらし達は、場所を東通小学校に移し、東通小のわらし達と方言を使ったゲームなどで交流を深めました。交流会後は、それぞれのホームステイ先家族と共に尻屋崎を訪れるなどして3日間を過ごします。ホームステイ中は、農園でのブルーベリー摘み取りや津軽海峡でのカゴ漁など、東通村の自然や第1次産業を体験するプログラムも行われました。

14年続く東京都北区との交流事業では、160人を超える北区のわらし達が入村証を受け取り、高校や大学に進学しても連絡を取り合ったりしています。わらし達が植えたブルーベリーのように、この交流事業から生まれた芽が大きく育ち、たくさんの実を結ぶことが期待されます。



“ずっぱり”の意味は？



歴代の苗木も立派な“浮間農園”に



目の前で水揚げされるカニに興味津々